

沖縄版・企業支援によるコロナへの挑戦

YouTubeアーカイブ
視聴はこちら！

沖縄総合事務局は、コロナ禍に苦しむ企業に対する支援機関の事業再生等支援力の向上や連携強化に向けたセミナーを開催。沖縄県経済の力強い回復に繋がるよう後押し。



概要

- コロナによる経済への影響が続く中、企業支援の現場においては、事業の承継や経営課題に直面する事業者に対して、金融機関、信用保証協会、中小企業活性化協議会、よろず支援拠点などの支援機関が、より一層連携を強化して、事業者支援等を行うことの重要性が益々高まっている。
- こうした中、全国や地域に支援ネットワークを持つ中小企業基盤整備機構沖縄事務所等と協働し、支援ノウハウ向上等を目的として、支援機関向けの事業承継支援・連携強化による事業再生支援のセミナーを開催した。

<「中小企業と会計」コロナ禍での中小事業者の現状把握とその支援に向けてー（令和4年9月8日開催）>

○日下企業経営相談所の日下智晴氏から、「中小企業と会計」をテーマに基調講演を実施。また、荻堂聡久氏（公認会計士）が作成した課題（製造業者の経営上の課題等）について、グループディスカッションを実施。

<事業者支援態勢の強化（令和5年2月21日開催）>

○金融庁監督局 参事官の新発田龍史氏から、「地域金融行政の現状と課題」をテーマに基調講演を実施。ブルームーンパートナーズ株式会社の伊波貢氏及び金融庁担当者を講師として、事業者の実情に応じた適切な支援をテーマとしたケーススタディとグループディスカッションを実施。

取組の成果

- グループディスカッションでは、事業再生支援の課題を討議テーマに設定し、参加者が直面している課題に即した討議を実施することで、熱量の高い意見交換が実現した。



- 地域金融機関や支援機関同士のネットワークの深化や支援ノウハウの蓄積により、事業者支援の取組の後押しにつながることを期待される。

【今後の展開】

- 今後も地域関係者と連携して企業支援機関向けのセミナーを継続的に開催し、持続的な地域経済エコシステム※の形成、並びにコロナの影響を受けた地域経済の力強い回復を後押ししていく。※P.13参照

高校生・大学生に「金融」×「財政」出前講座を実施

沖縄総合事務局は、学生をはじめ地域の幅広い世代へ、金融リテラシー向上のための金融経済教育の推進や財政広報に取り組んでおり、「金融」講座、「財政」講座に加え、相手方のニーズを踏まえ「金融」と「財政」をミックスした出前講座を実施した。

概要

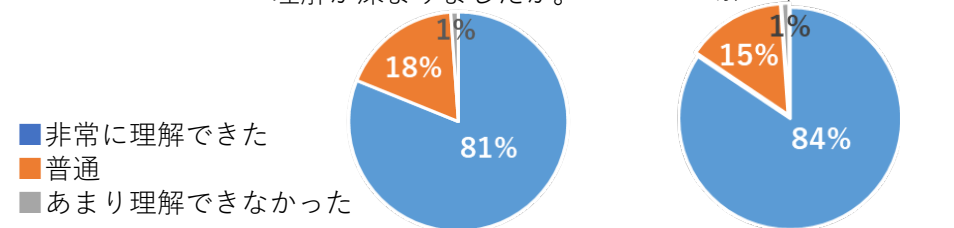
- 「金融」講座では、成年年齢引下げにかかる金融リテラシーをテーマに、クレジットカードの仕組み、利用上のメリットや留意点、金融トラブル防止策等について説明。
- 「財政」講座では、財政の役割や現状、年金や医療など身近な事例を交えて社会保障制度の意義等を説明。社会課題について様々な視点から考えることの大切さを説明。
- 令和4年度は、延べ8高校・4大学で計1,759名を対象に出前講座を実施した。



取組の成果

- 多くの学生から「財政・金融リテラシーについて理解できた」と回答があり、学生の財政・金融に対する理解向上に貢献した。

Q.「日本の財政」について理解が深まりましたか。 Q.「金融リテラシー」について理解が深まりましたか。



(事後アンケート結果の一例)

○参加者の声

- ・簡単に儲かる。など、甘い言葉の裏にはその分のリスクが伴うことがわかった
- ・クレジットカードやリボ払いについて理解できた。今回の講義を受けた事で、注意すべき点を知ることができた。
- ・財政がどれだけ身近にあるのかということをもっと多くの人に実感してもらうことが必要だと思った。